

あでやかに年祝い

〜三十三歳厄払い祈願

2月1日、市内の神社で厄年にあたる方々が正装で参拝する姿が見られました。女性の33歳も大厄とされ、北秋田地方では、ながらの和装でお参りする風習が残っています。黒留袖と丸鬘が雪に映え、古式ゆかしい趣をかもしていました（鷹巣神社で）。



広報 [No.22]

きたあきた

2/16

[1日.16日 月2回発行]

2006年